

## 市立病院建設検討特別委員会会議記録

1 日 時 平成21年4月18日(土) 午後1時30分 開会

2 場 所 第1会議室

3 出席委員

委員 長	中 川 英 孝
副委員 長	山 沢 誠
委 員	木 村 みね子(欠席)
委 員	名 木 浩 一
委 員	矢 部 愛 子
委 員	山 口 栄 作
委 員	平 林 俊 彦
委 員	伊 藤 余一郎
委 員	二階堂 剛
委 員	松 井 貞 衛
委 員	杉 浦 誠 一

4 出席事務局職員

議会議務局長	和 知 育 夫
議事調査課長	小 倉 智
議事調査課長補佐	染 谷 稔
議事調査課長補佐	大 谷 昇
議事調査課長補佐	佐 野 浩 司

5 傍聴議員 本郷谷健次議員・飯箸公明議員・織原正幸議員  
杉山由祥議員・中田京議員・高橋義雄議員

6 傍聴者 な し

7 議長挨拶

## 委員長開議宣告 ( 議 事 )

### 中川英孝委員長

議事運営について、協議をしたい。先日の特別委員会での基本計画案について、説明があり質疑をしたが、

- 1 基本計画案に対する質疑について、消化できなかったものの確認。
- 2 公立病院改革プランの取り扱いについて
- 3 計画案の基本的な部分の確認ということで、地域医療支援病院を目指す政策医療の基本認識、地域医療支援病院は診療報酬が上がるが、それに伴う施設等の問題もあるようだ、高度医療についての確認。3次救急を行うことによる診療科目、また3次救急は公立病院として必要なのか。災害医療のスペースの問題。
- 4 最終的には、66街区に満足のいく施設が確保できるのか。

この辺がポイントになってくると思っている。運営方法の意見交換をする。

### 伊藤余一郎委員

今のポイントを今日論議するのか。

### 中川英孝委員長

今日論議したい。

### 伊藤余一郎委員

出された内容は、細かく質問していない。今委員長が発言した疑問点に関しても、執行部に聞いていない。改めて執行部に質問し、それを各委員が質疑して確認していくという方法を取らないで、今論議しても意味が無い。今日は委員間の意見交換ということで出席している。具体的で重要な内容であり、今日突っ込んだ論議をするつもりはない。

### 中川英孝委員長

特別委員会の基本的スタンスは、執行部から基本計画案が出され、計画案に対し議会として計画に対しての意見を集約し、ボールをまとめることが大きな趣旨である。

### 伊藤余一郎委員

だとするならば、事前の連絡があつて意思統一をした上で開催すべきである。今日提起するなら、改めて日にちを設定すべきである。

### 中川英孝委員長

前回も、基本計画案の説明を受けるとき、特別委員会としての受け止め方がまちまちであった。その後持ち帰って精査し、2週間経って今日の特別委員会となっているが、もう一度持ち帰るのか。

### 伊藤余一郎委員

市立病院の骨格である中身を改めて論議するとなると、時間が必要である。

### 中川英孝委員長

執行部と平成11年から議論をしてきており、内容について積み上げてきた。

平成14年に第2次中間報告が出され、東松戸病院と統合して615床。これが大きなポイントで、今まで積み上げてきたものについては、第2次答申が基本と思っている。

周産期医療など新たなものが加わった部分はあるが、公立病院としてのあり方の議論は、第2次中間報告が基本と認識している。

### 山口栄作委員

各委員は今まで、積み上げてきたものを検証しつつ、議論していると思っている。一方、執行部の今までの流れを見てみると、積み上げてきたものが、どっかの段階でまたゼロからスタートして、その後、それも崩れる。元から始まるものと、途中から始めるものの脈絡がはっきりしない流れになっている気がする。なので、今までの流れを確認する必要があると思う。しかし、過去の話をする意味がない議論になっていることも多々ある。

### 中川英孝委員長

候補地についても当初、14か所であったが、それ以外の場所ということから66街区が提案された。それは、委員会でも必要があるということから、議論を重ねた。

過去のものを確認する必要があるのなら、再度執行部に確認することは、当然ながら必要である。

### 山口栄作委員

後ろ向きに思われたくないが、12月に66街区を買うことは容認したが、それと同時に附帯決議を出した。これは、議会としては、一つの候補地であって、あそこで決定ではないということである。しかし、執行部は、あの場所で決定であると思っているので、その部分の共通認識も必要と思う。

### 中川英孝委員長

それはそれでいいのかと思う。

### 平林俊彦委員

確認する。

移転建て替えについては、議会も執行部も同じ立場で了解されている。移転先については、運動公園がだめになって、東松戸の地区になったというのが、基本計画の元であるということで、会議を進めるということでもいいか。

### 中川英孝委員長

どの場所ということと基本計画は、別の問題である。

### 平林俊彦委員

どのような病院という基本的な部分については、どこに移っても同じである。

金額、駐車場とか何階建てになるとかについては、東松戸の候補地を前提にして、基本計画が提案されているのだから、それを認めるかについてから入らないと議論もできない。

### 松井貞衛委員

当初は黒字になるという話をしていたが、政策医療の関係で黒字にならない。

起債の償還、政策医療でマイナスが出てくるし、人件費については持ち出しになる。政策医療を行わないで、民間レベルにすれば赤字にならない。この政策医療の赤字の部分を県に補填してといっても、これはない。県は県立病院を撤収している。

政策医療を行っているので、赤字になるがそれはそれで認めるのか。営業収益のどこかでこの赤字部分がどうにかならないのか。しかし、実質的には始まってみないとわからない。

まず、議会が毎年赤字になる政策医療について認めるのか、どうかだ。

### 中川英孝委員長

政策医療のどの診療科が赤字になっているのかについては、分かっていると思うので、それについてどうするのかについては、今後議論する必要がある。

### 平林俊彦委員

改革プランの内容については、新病院の建設とは別の問題であると思う。

### 松井貞衛委員

赤字の出る政策医療については、国なり県なりに、きちんと金を出させるという約束がないままやってはいけない。県は政策医療については、撤収の意向のようである。

県では、この東葛地域に県立病院を造る意思がないのだから、政策医療の赤字部分について、県が負担するという約束がないとまずい。

### 平林俊彦委員

48万市民全体の健康のために市立病院があるのであれば、その赤字部分に6億円がかかってもしかたがないと思う。その認識が違う。

### 松井貞衛委員

全会派でその様な意見になれば、この計画で行けるが。

### 伊藤余一郎委員

政策医療について、赤字が出るというのは前提としてあるので、それをどれだけ少なくするための努力をするか。あるいは、国や県が補填していかなければならない。

### 中川英孝委員長

基本的なことについて議論をしたい。政策医療についての意見交換をしていきたい。

### 松井貞衛委員

政策医療の赤字、人件費は一般会計、そして建設のための起債の償還があつて、新病院を建設するのは賛成するが、松戸市は今後、自主財源が厳しくなつて、国もますます金を出さなくなる。そして、途中で独立行政法人や指定管理となったときに何をやっていたということになる。行うのはいいが、赤字の部分については、国、県なりに働きかけをして、約束を確保するべきである。

この部分については、執行部を交えて確認したい。

### 平林俊彦委員

前回人件費が病院の経営で何%ぐらいなら、という話をしたところ50から55%という話があつた。病院の経営というものは、それに近づけるという努力は必要である。

### 伊藤余一郎委員

この問題については、執行部を呼んで行うべきと考えている。

### 杉浦誠一委員

今回は、経営について入ってきている。赤字部門だけを集めると、どの位の赤字で、政策医療はどの位の赤字だという比較は行っていないようである。

これから、看護師を200人増員するという。人件費を圧迫することよりも、売上を上げることによって、経営を良くしていこうという内容が確認できる。

### 伊藤余一郎委員

この辺の資料については、執行部へ要求すべきと思う。

### 中川英孝委員長

政策医療とこれに地域医療支援病院を加えて、執行部に再度確認するということでいいか。

( 了 解 )

### 中川英孝委員長

高度医療についても確認し、また3次救急についても本当に必要なのか確認したい。地域医療支援病院についても、本当に公立病院として必要なのか。地域医療の中でかなり負担もあるようなので、この辺についてボールを投げかけたい。

次に、4月8日の質疑について、消化できているか確認する。

### 松井貞衛委員

地域の拠点病院になるためには、電子カルテを整備しないと、広域の拠点病院というものにはならないと考えている。町医者の地域連携がうまくいっていない。

### 中川英孝委員長

松井委員のこの前の質疑は、赤字に対してどのように対応するかということだと思うが、消化できたか。

### 松井貞衛委員

本来であれば病院会計の中で、企業債の償還を行うべきである。

### 中川英孝委員長

新病院を建設することによって、赤字が縮小する。だから新病院は政策医療をやるという答弁であった。

### 松井貞衛委員

赤字の規模は同じだ。人件費の話が出たが、70から80%というのが大体で、バランスがとれていない。

### 中川英孝委員長

国は、政策医療については、公立が担うといいながら、改革プランで経営を絞って、黒字にしろといているので、矛盾している。そのためには、診療科目をしぼれという・・・。

### 松井貞衛委員

どの様にして黒字化するかという努力目標が明確でない。そこに政策医療が入っているので、政策医療については、どのようにするのか。

建設費だけ近隣市から貰うのではなく、運営費についても国、県を始め近隣市からも約束をもらうべきだと思う。

### 伊藤余一郎委員

公立病院の赤字について一般会計から補填するということは、総務省も厚生省も認めている。それが今度の改革プランとは矛盾する形になっている。

### 中川英孝委員長

二階堂委員については、5点あったがどうか。

### 二階堂剛委員

①14頁、救命救急センターについてだが、新病院の場合は、救急部として独立した形でやるのか。それとも各科と連携しての救急ということで考えているのか。

②15頁、周産期母子医療センターのNICUのベッドが15床となっているが、全国的に必要とされていて、市立病院もベッドが空かない状況と聞いている。また、政策医療ということからすると15床では足りないと思うがどうか。

③看護師の配置基準を10対1から7対1にするということだが、現状でも欠員があるようだが、何人くらいの増員となるのか。

④「3交代、2交代の選択等、柔軟な勤務体制を確立します。」となっているが、

具体的にどのようなことか。

⑤保育所の確保の問題だが、現状は北松戸の民間保育所を中心に行っている。紙敷に行くと周辺にはあまりないようだが、待機者がいる中で、看護師専門の保育所にするのか、あるいは民間の保育所を借りるのか、どのように対応するのか。

それぞれの内容について答弁をいただいたが、はっきりしない部分があった。

#### 中川英孝委員長

それでは、明快な答弁がなかったという二階堂委員の思いであるので、この辺は再度ボールを丸める。

#### 矢部愛子委員

子育ての終わった方を看護師に迎えることも。

#### 中川英孝委員長

これは申し入れということで。

#### 名木浩一委員

地域連携ということから研修センターというものがあるが、実際計画の中に入っている。どの位のどのようなものかを考えて、実際この中に納まるのかということ聞いたつもりだが、その答弁はなかったように思う。

計画の中で特定健診の基本計画のなかで行っていくように記載されているが、ハードには記載していないので、どこで、何をしようと考えているのか。行うことのプラス、マイナス面はあるのかと聞いたつもりだが、つまり、どのように行うのかを聞いたつもりだが、それについては、答弁がなかった。

特に民間などは、これに特化して営業収益を上げている病院もある。その辺をどのように考えているのか。また、どこでやるのか。

看護師体制については、新病院が開院したときに、突然確保できるものではないので伺った。努力はするということだが、計画はなかった。

経営の根幹は、医師と看護師確保であると思っている。医師の部分は、臨床研修と看護師の体制で、営業収益を上げるために、健診部門があって、経営の改善ということで戦略的に何か持っているのかということを確認したかった。

#### 平林俊彦委員

①14頁、赤字の原因になっているのが、人件費比率82%というのがその要因になっている。新病院になったときには何%にすれば黒字になると考えてい

るか。

② 21頁、現在の市立病院は予約診療で、新病院でも続けると思うが、紹介率60%になったときの、初診の調整というのはどのようにするのか。

③ 32頁、総合設計制度を適用するとのことだが、どのような要件が必要なのか。

④ 58頁、東松戸病院のあり方についてだが、ここでは東松戸病院の耐震化の問題について触れられていない。このまま東松戸病院を続けるということのようだがこの基本計画でいいのか。

それぞれ、答弁については了解している。

東松戸病院については、このままにしておけないということについては、新病院の建設とは直接関係ないが、今後検討するということであったので、了解している。

#### 中川英孝委員長

第2次では、統合して615床ということであった・・・。

#### 平林俊彦委員

統合については、今回の600床ということであっても統合ということなので、それをやり取りしてもどうにもならないと思う。

#### 松井貞衛委員

東松戸病院は重要な病院である。

#### 中川英孝委員長

それは、もっともな話だが、当初とは違ってきている。残すなら残すで耐震をどうするのか。

#### 平林俊彦委員

これは、東松戸病院の問題と考えて、新病院とは切り離さないと前に進まない。

#### 杉浦誠一委員

予算の中で建築費の中で駐車場の地下の部分もみている。

#### 中川英孝委員長

駐車場の問題については、大きなものであるので、大きなポイントになって

くる。絶対条件であるので、何台必要かの議論は必要である。

#### 山口栄作委員

基本構想の中では、機能性や経済性及び全体工程と資源のバランスを考慮して400床から500床、今回の基本計画では必要な規模と機能を再検討して600床となっている。病床の算出根拠が見えていない。

この基本計画と基本構想をみると、基本的に内容が変わっていないのに、数字が変わっている部分があるので、そこを検証したいと思っている。

#### 中川英孝委員長

伊藤委員から経営形態について、少し話があったが、新病院の中で経営形態も含めて考えるということで質問しようとしているのか。

#### 伊藤余一郎委員

基本的には赤字ではだめだということを前提にはしない。そもそも赤字になるという要素はある。だからといって、それをよしとするわけではない。先ほどもあったが、それに関連する質問として国、県はということを改めて確認する必要はあるのかと思っている。

#### 中川英孝委員長

この新病院について、経営形態について発信するべきと考えているのか。

#### 伊藤余一郎委員

それは、考えるべきと思っていない。それは、今までの答弁の中でも市直営でやるといっているのだから、それを変えろなんていうことは、あり得ない。将来そのような話が出ればこれは別である。

#### 中川英孝委員長

消化しきれなかったものを、確認してまとめさせていただく。

#### 杉浦誠一委員

今回追加ということで、申し訳ないが、先ほど名木委員が話をしていたが、医師確保の具体的な問題ということが出ていない、看護師もそうだが。

救急扱い口腔外科、歯科関係については、どのように考えているのか。

### 矢部愛子委員

- ①新しい診療科の小児心臓血管外科は、どのような診療科なのか。
- ②財源について、建設事業費は228億円、3月議会で総事業費で232億円を出されていたが、これが減っているという部分と、この時の企業債が161億円であった、今回は6億円増えている。総事業費が減って、企業債が増えている原因を示していただきたい。
- ③今回個室が30%ということだが、個室の広さを教えていただきたい。

### 松井貞衛委員

医師、看護師確保の支度金を出していると思うが、その辺を確認していただきたい。

### 中川英孝委員長

前回の説明では、3次救急などのバックグラウンドとして23科から今回25科になったということだが、この診療科について何か意見はあるか。

### 平林俊彦委員

口腔外科の問題は、先ほどあった。

### 杉浦誠一委員

衛生会館で行っている夜急診の関係などは、どこに行くのかということもある。

### 中川英孝委員長

事前に質問事項を作っているため、その内容について披露する。

- ・ 基本計画では新たな施設（病棟ごとのカンファレンス室などや外来の化学療法室、輸血療法室等）、4床室の1床あたり面積を1.5倍にするなどが謳われている。45,000㎡でこの基本計画を満たせるのか。
- ・ 1フロアに84床（2看護単位）整備する計画だが、4床室は何㎡を想定しているのか、また、個室は何㎡か。また、廊下幅は何mを確保するのか。各病棟に多目的室、デイルーム、カンファレンス室、看護師用仮眠室を設置すると謳われているが、トータルでの1フロアの面積は何㎡を想定しているか。
- ・ 45,000㎡の延べ床面積を確保して、総合設計制度を使った場合の公開空地の割合は何パーセントか。
- ・ 動線等を考えると、ある程度同一フロアが望ましい施設があると思われるが、

- 1フロアの面積は、最大でどの程度確保できるか。
- ・ 地下2階建てが想定されているが、地下部分は容積率の面積に参入されるのか。
  - ・ 600床の病院の場合、駐車場は何台分を確保する必要があるか。
  - ・ 長期の工事が予測されるが、現場事務所や資材置き場は今の敷地内で確保できるか。
  - ・ 29年度までは東松戸病院を存続させる予定だが、施設の耐震改修はどうするのか。(過去に耐震性能の落ちる建物を使わない方策もあると答弁)  
仮に東松戸病院の運営形態を見直したとき、市立病院の後方支援病院の位置づけは担保できるのか。(医師一人増員、入院日数の短縮が改革プランで示され、23年度には黒字化となっている)
  - ・ 高度医療の定義は。(どんな医療を高度医療というのか)  
また、本体施設に入れられない。あるいは、本体以外にした方がいいというものがあるか、出していただきたいということではないか。

(了解した)

#### 中川英孝委員長

現病院の跡地利用について、我々も地元の方に説明ができるように、議論のテーマとしたいと思うが、買う人によって、規模も決まってくると思うし、1号館の問題もある。しかし、新病院との経営の問題もあると思うので、この辺はしっかりと議論したい。

#### 松井貞衛委員

市長は地元説明会で、医療機関に売却するといっている。それを議論するのか、それとも覆すのか・・・。

#### 中川英孝委員長

市長がそのような話をしているのであれば、その辺の話をこの特別委員会でしっかりと申し述べていただきたい。

#### 平林俊彦委員

ベッド数は、ともかくその辺の話は、本会議で聞いている。

#### 松井貞衛委員

保健医療圏ごとに病床数というものが決まっていたと思うが。

### 議事調査課長

改革プランの25ページに東葛北部医療圏、基準病床数8,991床、既存病床数8,973床で過不足病床数18床足りないこととなっている。東葛南部は基準病床数9,244床、既存病床数10,800床で1,566床オーバーしていることとなっている。

### 中川英孝委員長

現市立病院の跡地の病床数については、新病院や東松戸病院の問題もあるので、この辺については、執行部に確認したいと思う。

### 松井貞衛委員

民間病院では、接遇専門の職員がいて、とても評判がいい。そのくらいの人件費で評判がよくなって、売上げが上がるのであれば、2人でも3人でも入れるべきかと思う。

### 中川英孝委員長

今日議論した内容を確認する。計画の基本部分の確認ということで、政策医療の基本等について、議論があったが、それを整理させていただき質問事項としたい。

また、4月8日の質問事項について、議論したが、これについても消化できない部分については、整理して投げかける。

改革プランについても議論した、松戸市立病院の場合は、改革プランの提出と建設というものが、一致したということであるので、少なくとも改革プランの内容が新病院の建設に一致するものでなくてはならないということで、議論をした。これについても、国、県と連携しながら県でやらなければならないことを市立病院が行っていることもあるので、これも執行部へ投げるということも大切であると思う。

事前の細かい質問事項についても了解をいただいた。

これが本日の総括であるが、何か意見はあるか。

(なし)

### 中川英孝委員長

改革プランに対する質問があり、その回答が提出されたので配付させていただく。

中田京議員、本郷谷健次議員、杉山由祥議員、山中啓之議員からそれぞれ質

問があった。

回答については、今一つと思うので、この辺についても正副委員長でまとめて、質問事項としたいと思っているので、了解願いたい。

(了解)

#### 中川英孝委員長

正副議長そして私のところに6月議会に65街区を買いたいということを提案したい旨の話があった。附帯決議もあるので、詳しい話はしなかったが、しっかりと計画していただいて前回と違う形で出していただきたいという話をした。この扱いについても我々の意見をまとめなければならないと思う。

#### 伊藤余一郎委員

日程について決定していただきたい。

#### 中川英孝委員長

この議論を整理して執行部へ投げて議論を進めていきたいのでよろしく願います。

次回については、早く開催したいと思うが、今月中に行いたいと思うので4月30日午前10時から開催ということでよろしいか。

(異議なし)

#### 中川英孝委員長

それでは、さよう決定する。

意見交換終了

委員長散会宣告

午後3時45分